

## 6月定例会の議決結果

平成23年第3回定例会は、6月20日から7月7日までの18日間にわたって開かれ、市長提出議案19件、議員提出の条例改正1件、意見書2件について、それぞれ審議決定しました。

そのほか、専決処分の報告など11件、議員派遣の審議7件がありました。

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第39号議案	副市長の選任について	委員会付託省略	同意
第40号議案	監査委員の選任について	〃	〃
第41号議案	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	〃	〃
第42号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	〃
第43号議案	長崎市事務分掌条例の一部を改正する条例	総務委員会	原案可決
第44号議案	長崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第45号議案	長崎市税条例の一部を改正する条例	〃	〃
第46号議案	長崎市営住宅条例の一部を改正する条例	建設水道委員会	〃
第47号議案	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約の変更に関する協議について	委員会付託省略	〃
第48号議案	工事の請負契約の締結について（市宮庭球場屋根設置主体工事）	建設水道委員会	〃
第49号議案	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について（三京町）	委員会付託省略	〃
第50号議案	市道路線の認定及び廃止について（認定2件、廃止1件）	建設水道委員会	〃
第51号議案	財産の取得について（救助工作車及び救助資機材）	総務委員会	〃
第52号議案	法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について（医療事故による損害賠償）	厚生委員会	〃
第53号議案	平成23年度長崎市一般会計補正予算（第1号）	所管の各常任委員会	〃
第54号議案	平成23年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第1号）	文教経済委員会	〃
第55号議案	平成23年度長崎市病院事業会計補正予算（第1号）	厚生委員会	〃
第56号議案	長崎市子ども広場条例	〃	〃
第57号議案	市長及び副市長の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	総務委員会	〃
議第3号議案	長崎市議会委員会条例の一部を改正する条例	委員会付託省略	〃
議第4号議案	未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について	〃	可決
議第5号議案	避難施設における防災機能の整備の推進を求める意見書について	〃	〃

## 施政方針（抄）

6月20日の本会議において、市長から施政方針について説明がありました。その要旨は、次のとおりです。

今、時代は大きく変化しています。

経済、環境、平和を取り巻く情勢など、様々な問題が世界規模で激しく変動するなかで、日本も大きく変わらなければならない時を迎えています。

増え続けてきた人口がピークを過ぎ、今後は確実に減少していきます。少子化と高齢化も一層進み、これまでの福祉、年金、医療等の社会保障制度をはじめとする様々な仕組みの見直しと、新しい仕組みづくりが始まっています。また、地方分権がより一層進展し、国と地方の関係も大きく変わろうとしており、地方自治体は自らの判断と責任のもと、地域の実情に応じたまちづくりを進めていくことが求められています。

さらに、この度の東日本大震災は、便利さを追い求めてきた私たちの社会のありようや、災害に強いまちづくりに対する考え方、原子力発電所事故を教訓としたエネルギー政策のあり方などについても、私たちに再考を迫っています。

そこで私は、この大切な時機を次の3つの視点で捉えました。

一つ目は、雇用と暮らしを支える「経済」をより強いものにする重要な時機にきているということです。

二つ目は、長崎の「まち」の形を決める重要な時機にきているということです。

三つ目は、「まちを支える仕組み」を変える重要な時機にきているということです。

「自分たちのまちは自分たちでつくり、良くしていく」という意識をすべての人が持ち、「協働」しながらまちを創る仕組み、まちを支える仕組みをさらに発展させるとともに、市役所自ら仕事の仕方を変えていく、そういう時機にきています。

このようななかで、大きな変化の波を果敢に乗り越え、力強く前へ進んでいかなければなりません。長崎市には、どんな大きな変化にも対応し、発展し続ける力があります。市民の皆様と一緒に、力を合わせれば、長崎市を必ず「進化」させることができるはずです。

「個性輝く世界都市 希望あふれる人間都市」の実現をめざし、1歩ずつ着実に前へ進んでいくために全力を尽くしてまいりますので、改めて、市民の皆様並びに議員各位の大いなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。